

干潟の楽しみは、生き物を知ることからはじまる

水谷さんが干潟の保全をしていこうと思うようになったのは、地域の人と一緒にする清掃活動が始まりでした。干潟へ行くうち、「カニの巣穴を見つけたら…、ここには想像する以上に色々な生き物があるんだ」ということに気づいたそうです。さらに、海岸線に集まる生き物について知りたいと思う気持ちが増え、干潟

を観察するうちに、楽しみへと繋がっていきましました。そして、この豊かな自然を次の世代へ伝え、残していきたいという想いで、現在も活動を続けています。

水谷さん「この干潟で遊んだこともたちが大人になって、自分のことを連れていきたいと思ったときに、この場所がそのまま残っていたらいいなあと思います。」

また砂浜には、ウミガメの上陸も確認されています。かつて高松海岸の沖では、漁をしていると、ウミガメが目撃されることもあったそうです。今後もウミガメが来ることができるところとしても残していきたい海岸です。

人と自然が触れ合える場所「干潟」

近年、産業が発達するなかで四日市市北部や川越町の海岸も、四日市港として総合的に海岸整備が行われ、かつてのような砂浜も海浴場の面影も消えてしまいました。

そんななか現在も残っている高松海岸の干潟には、多様な生き物があふれ、豊かな海を育む生態系が成り立っています。

今回、高松海岸を訪れてみて、このような自然がわたしたちの身近なところに残っていたんだ、と少しの驚きを感じました。干潟での生き物探しや潮干狩りなどの体験は、希薄になったともいわれる、わたしたち

と海との関わりを再び繋げてくれるものになると思います。「生き物の宝庫」ともよばれる干潟は、人と自然が触れ合うことのできる貴重な場所でもありました。

最後に、環境学習情報センターでは高松海岸にて、夏休みこども環境講座「干潟の観察会」を開催します。実際に干潟へ出かけて、どんな生き物がいるか探してみませんか。親子でのご参加お待ちしております。

写真提供 「高松干潟を守る会」水谷いずみさん
「なたね通信」榎枝正史さん



写真は、平成4年に高松海岸で発見されたウミガメです。このあと元気に海へと帰っていきましました。それ以降は、平成15年と平成23年に上陸・産卵が確認されています。



夏休みこども環境講座

干潟の生き物探検隊!

参加費
無料

貝の浄化実験や干潟の役割についてのお話を聞いたあと、干潟で生き物を観察します。

日時 8月21日(水) 9:30~12:00

会場 川越町・高松海岸(集合:高松干潟・朝明川河口右岸)
*悪天候時は川越町上古公民館集合

講師 高松干潟を守る会

対象 小学1年生から中学生まで(保護者同伴)

募集人数 親子で40人 *幼児の参加はご遠慮ください

申込方法 「夏休みこども環境講座」の申込方法は、他講座と異なります。

7月初旬頃、センターホームページでご案内します!



湿地のグリーンウェイブ2013

「湿地のグリーンウェイブ」とはラムサール・ネットワーク日本の主催による湿地保護全国キャンペーンです。
毎年4月~6月、全国各地で湿地保護のさまざまなイベントが開催されます!

ラムサール・ネットワーク日本「湿地のグリーンウェイブ」
<http://www.ramnet-j.org/>



イラスト:松本 悟